

プログラム

第1日目 7月22日(土)

◆開会宣言 10:00~10:10 第1・第2会場

学会長：中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター センター長）

◆学会長講演 12:30~13:20 第1・第2会場

座長：赤松 利恵（お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系 教授）

研究成果を社会に還元する

演者：中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター センター長）

◆鼎 談 13:30~15:30 第1・第2会場

ヘルスプロモーションの谷間に火を灯す—健康行動を促す環境整備をどう進めるか？

座長：吉池 信男（青森県立保健大学 理事長）

栄養政策における環境整備

演者：村山 伸子（新潟県立大学 人間生活学部 教授）

身体活動促進政策における環境整備

演者：井上 茂（東京医科大学 公衆衛生学分野 主任教授）

たばこ対策における環境整備

演者：中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター センター長）

大分県における多様な主体との協働による社会環境の整備

指定発言：藤内 修二（大分県 福祉保健部 理事兼審議監）

環境整備を進めるための戦略や方策

指定発言：片野田 耕太（国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 部長）

◆学会奨励賞講演 15:45~16:20 第1・第2会場

座長：村山 伸子（新潟県立大学 人間生活学部 教授）

学力向上と健康増進施策の橋渡し

—子ども・青少年の身体活動促進を中心に据えたヘルスプロモーション研究—

演者：喜屋武 享（京都大学大学院 医学研究科 特定助教）

◆教育講演1 16:30~17:20 第1・第2会場

座長：大島 明（大阪国際がんセンター がん対策センター 特別研究員）

住民の喫煙率低減を目指したアドボカシー活動

演者：加藤 一晴（浜名医師会 加藤医院 院長）

◆イブニングセミナー 17:30~18:30 第1・第2会場

予防接種に対する心理的要因/知っておきたい免疫と感染症予防

座長: 福田 洋 (順天堂大学大学院医学研究科 先端予防医学・健康情報学講座 特任教授)

新型コロナワクチン接種控えは何故起こるのか

演者: 町田 征己 (東京医科大学 公衆衛生学分野 講師)

免疫の仕組みとワクチン接種の意義

演者: 石井 直人 (東北大学大学院医学系研究科 免疫学分野 教授)

共催: ファイザー株式会社

◆Meet the Expert 1 (若手の会企画) 10:10~11:10 第3会場

「アクションリサーチに関する論文の書き方ガイドライン」の紹介と
今後期待すること

演者: 助友 裕子 (日本女子体育大学 教授)

ファシリテーター: 若手の会運営委員

◆Meet the Expert 2 (若手の会企画) 11:20~12:20 第3会場

学校保健における性教育の現状とこれから

演者: 上地 勝 (茨城大学教育学部 教授)

ファシリテーター: 若手の会運営委員

◆一般演題 (ラウンドテーブル1) 10:10~11:00 第4会場

◆一般演題 (ラウンドテーブル2) 11:10~12:00 第4会場

◆一般演題1 (オンライン口演) 15:40~16:55 オンライン会場

第2日目 7月23日 (日)

◆一般演題2 (口演) 9:00~10:40 第1会場

◆一般演題3 (口演) 9:00~9:50 第4会場

◆一般演題4 (口演) 11:20~12:00 第3会場

◆一般演題5 (口演) 11:00~12:00 第4会場

◆一般演題 (ラウンドテーブル3) 9:00~9:50 第2会場

◆一般演題 (ラウンドテーブル4) 10:00~10:50 第2会場

◆一般演題 (ラウンドテーブル5) 11:00~11:50 第2会場

◆一般演題 (ラウンドテーブル6) 10:00~10:50 第4会場

◆ Meet the Expert 3 (若手の会企画) 9:00~10:00 第3会場

健康教育・ヘルスプロモーションにおけるナッジの活用

演者: 竹林 正樹 (青森大学 客員教授)

ファシリテーター: 若手の会運営委員

◆ Meet the Expert 4 (若手の会企画) 10:10~11:10 第3会場

働き盛り世代におけるヘルスリテラシーの活用

演者: 福田 洋 (順天堂大学大学院 医学研究科先端予防医学・健康情報学講座 特任教授)

ファシリテーター: 若手の会運営委員

◆ 教育講演 2 11:00~11:50 第1会場

座長: 小熊 祐子 (慶應義塾大学 スポーツ医学研究センター 准教授)

普及と実装を科学する—その方法と実際

演者: 島津 太一 (国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策研究所 行動科学研究部 室長)

◆ ランチョンセミナー 1 12:00~13:00 第1会場

座長: 宇田 英典 (地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター シニアアドバイザー)

ナッジを使ったヘルシーコンビニプロジェクト

演者: 川畑 輝子 (地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター 研究員)

共催: 公益社団法人地域医療振興協会

◆ ランチョンセミナー 2 12:00~13:00 第2会場

医療・ヘルスケア領域における ICT 活用の可能性

座長: 佐竹 晃太 (株式会社 CureApp)

治療用アプリを用いたデジタル療法~行動変容に対する ICT でのアプローチ~

演者: 佐竹 晃太 (株式会社 CureApp 代表取締役社長兼医師)

ヘルスケア領域における ICT 活用の実践例

演者: 園田 美沙樹 (株式会社 CureApp 看護師)

共催: 株式会社 CureApp

◆ シンポジウム 1 13:10~14:55 第1会場

医療におけるヘルスプロモーションと質改善—地域医療と公衆衛生の協働を目指して

座長: 福田 洋 (順天堂大学大学院医学研究科先端予防医学・健康情報学講座 特任教授)

山田 隆司 (地域医療振興協会 副理事長 兼 台東区立台東病院 管理者兼病院長)

医療機関が取り組むヘルスプロモーション活動~日本 HPH ネットワークの活動~

演者: 舟越 光彦 (公益社団法人 福岡医療団 千鳥橋病院 予防医学科科長)

地域ヘルスプロモーション病院の意義と実際

演者: 梅屋 崇 (あま市民病院 管理者兼病院長)

多職種で進めるアドバンス・ケア・プランニング

演者: 望月 崇紘 (君津市国保小櫃診療所 管理者兼診療所長)

診療所における QI 活動

演者: 西村 正大 (奈良市立都祁診療所 管理者兼診療所長)

◆シンポジウム2 15:05~16:50 第1会場

行動変容手法としてのナッジとインセンティブーその強みと限界

座長：福田 吉治（帝京大学大学院公衆衛生学研究科 教授）

中村 正和（公益社団法人地域医療振興協会 ヘルスプロモーション研究センター センター長）

食生活・栄養の立場からみたナッジの強みと限界

演者：林 美美（女子栄養大学 栄養学部 食生態学研究室 准教授）

身体活動の立場からみたナッジの強みと限界

演者：甲斐 裕子（公益財団法人 明治安田厚生事業団 体力医学研究所 副所長／上席研究員）

インセンティブによる健康格差是正への挑戦

演者：鷺尾 幸子（RTI International 研究員）

◆一般演題6（口演）	13:10~17:00	第2会場
◆一般演題7（口演）	13:10~17:00	第3会場
◆一般演題（ラウンドテーブル7）	13:00~13:50	第4会場
◆一般演題（ラウンドテーブル8）	14:00~14:50	第4会場
◆一般演題（ラウンドテーブル9）	15:00~15:50	第4会場
◆一般演題（ラウンドテーブル10）	16:00~16:50	第4会場
◆学会長賞授賞式・閉会式	17:00~17:30	第1会場

一般演題発表（口演）

7月22日（土）

一般演題1 15:40～16:28（オンライン）

座長 助友 裕子（日本女子体育大学）

OR1-1 現代女性は“お産は安全なもの”ととらえているのか？安全神話を考える
木村 美也子（聖マリアンナ医科大学）

OR1-2 ヘルスリテラシーと心血管疾患及びその危険因子との関係性の検討
廣岡 伸隆（埼玉医科大学病院 地域医療科）

OR1-3 スマートフォンなどのデジタル機器を活用した保健指導の成果に関する文献レビュー
荒木田 美香子（川崎市立看護大学）

OR1-4 寮のある私立中・高等学校における「心臓突然死ゼロ活動」の更なる普及を目指して
加藤 禅大（医療法人社団 健成会 加藤医院）

一般演題1 16:28～16:55（オンライン）

座長 川畑 輝子（公益社団法人 地域医療振興協会）

OR1-5 特別支援学校におけるICT・給食・レシピを活用した食育「野菜博士になろう」の実践が家庭との連携に及ぼす効果
光藤 百合子（兵庫教育大学連合大学院）

OR1-6 地域在住高齢者の食行動に影響を与えるライフイベントの質的研究
佐藤 清香（お茶の水女子大学）

7月23日（日）

一般演題2 9:00～9:48（第1会場／ホールA）

座長 赤松 利恵（お茶の水女子大学）

OR2-1 栃木県A町における保護者の随時尿中Na/K比と子どもの随時尿中Na/K比及び保護者の食行動との関連
種瀬 柚季（女子栄養大学大学院）

OR2-2 中学生を対象とした「食事バランスガイド」の料理区分の分類スキルの習得を目指した教育実践
田上 成美（大阪樟蔭女子大学 健康栄養学部 健康栄養学科）

OR2-3 思春期を対象とした iPad アプリケーションを用いた食育プログラムの実践と評価：「できる」を育てる新たな食育の試み

松田 真保（大阪市立大学大学院 生活科学研究科）

OR2-4 「妊産婦のための食生活指針」から「妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針」へ

大西 弘太郎（郡山女子大学 家政学部 食物栄養学科）

一般演題2 9：48～10：40（第1会場／ホールA）

座長 上地 勝（茨城大学）

OR2-5 公的病院における行政と連携した小中学校での喫煙防止プロジェクト

高橋 麻衣子（公益社団法人 地域医療振興協会 台東区立台東病院／老人保健施設千束）

OR2-6 小学生への障害理解教育授業前後の障害者交流意識の比較

慶徳 民夫（医療創生大学 健康医療科学部 作業療法学科）

OR2-7 学童後期の体型認識および満足度と自尊感情、QOLに関する検討

宗村 弥生（山梨県立大学 看護学部）

OR2-8 学校の感染症対応における教師の負担感尺度の開発

宮城 十子（兵庫教育大学大学院）

一般演題3 9：00～9：50（第4会場／第3会議室）

座長 甲斐 裕子（明治安田厚生事業団）

OR3-1 歯科受療行動と健康関心度の関連：インターネットを用いた全国調査の分析から

大橋 千秋（帝京大学大学院 公衆衛生学研究科）

OR3-2 高い健康意識を有する地域在住高齢者のフレイル予防をめざした行動科学理論に基づく栄養教育介入の前後比較研究

郡司 弥恵（長野県立大学大学院）

OR3-3 日本国内のノルディックウォーク教室における指導内容ならびに受講経験の実態

加藤 雄司（高須病院）

OR3-4 公益法人が運営する医療・介護施設のヘルスプロモーション活動の実態と促進要因、阻害要因の検討

川畑 輝子（公益社団法人 地域医療振興協会）

一般演題4 11:20～12:00 (第3会場/第1会議室)

座長 鈴木 朋子 (大阪樟蔭女子大学)

OR4-1 地域の診療所が主導するドラッグストアにおける食塩に関するPOP表示の試み

嶋田 雅子 (地域医療振興協会)

OR4-2 外食チェーン店で提供される食塩相当量が適正なメニューの特徴

谷内 ななみ (お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科)

OR4-3 居住自治体での食品購入が極めて少ない過疎地域での食環境整備の取組：スーパーマーケットの買い物バスを活用した情報提供と調査

小山 達也 (美作大学)

一般演題5 11:00～12:00 (第4会場/第3会議室)

座長 林 芙美 (女子栄養大学)

OR5-1 因果推論を用いた実店舗における健康的な食行動を促すナッジの効果の検討

五領田 小百合 (山形大学 農学部)

OR5-2 1歳児をもつ母親の食事時間の楽しさと育児・家庭状況、子育て感、子どもの食事の悩みの関連

會退 友美 (東京家政学院大学)

OR5-3 成人版食に対する感謝の気持ち尺度の妥当性・信頼性の検討

河崎 唯衣 (お茶の水女子大学 SDGs 推進研究所)

OR5-4 我が国の若年成人における化学物質に対する忌避感が高い者の特徴

鮫島 那奈 (お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科)

OR5-5 Factors affecting the disability acceptance attitude of college students participating in the disabled experience

盧 起玉 (建陽大学校 看護大学 看護学科)

一般演題6 13:10～14:10 (第2会場/ホールB)

座長 竹林 正樹 (青森大学)

OR6-1 「習慣化アプリ×禁煙補助薬」による禁煙プログラム実践報告

上村 知聡 (エーテンラボ株式会社)

OR6-2 テキストメッセージ配信がショッピングモールアプリ利用者の歩行促進に与える効果：全国規模のランダム化比較試験

松岡 洋子 (千葉大学 予防医学センター)

OR6-3 単一運動施設の利用希望者における運動継続の促進、阻害要因に関する報告 ―質問紙調査と半構造化面接を組み合わせた混合研究法―

中村 学 (慶應義塾大学大学院 健康マネジメント研究科)

OR6-4 自由時間の自己管理が高齢者の精神的健康に及ぼす影響：3年間の縦断研究

原田 和弘 (神戸大学 大学院人間発達環境学研究科)

OR6-5 社会的孤立のリスクが高い都市部在住の高齢者に対する社会的処方 ―リンクワーカーによる社会参加促進活動の実践―

石塚 亮平 (帝京大学大学院 公衆衛生学研究科)

一般演題6 14:10～15:10 (第2会場/ホールB)

座長 小山 達也 (美作大学)

OR6-6 特定保健指導における ICT 面談の工夫点 ―管理栄養士を対象とした質的調査―

新保 みさ (長野県立大学 健康発達学部 食健康学科)

OR6-7 特定保健指導における対面面接と比較したオンライン面接による BMI への影響 (第二報)

金森 悟 (帝京大学大学院 公衆衛生学研究科)

OR6-8 ナッジを用いた野菜摂取量推定機器の利用促進

信田 幸大 (カゴメ株式会社)

OR6-9 宣言型健康アプリによる歩数への影響の検証

村上 真 (エーテンラボ株式会社)

OR6-10 パフォーマンス活動を行う人々による講演会：当事者活動の実践の理解に向けて

杉本 洋 (新潟医療福祉大学 看護学部 看護学科)

一般演題6 15:10～15:58 (第2会場/ホールB)

座長 道林 千賀子 (岐阜医療科学大学)

OR6-11 保育所の1歳児クラスと家庭における食具の使用に関する研究

池谷 真梨子 (和洋女子大学)

OR6-12 幼児をもつ父親の現在の食に関する家事参画に関連する過去の食事づくり等の経験

吉井 瑛美 (長野県立大学 健康発達学部 食健康学科)

OR6-13 人事担当者と保健師で企画する外部講師による“満足度の高い”オンライン講演の実施について

白田 千佳子 (株式会社エクサ)

OR6-14 看護師のサポートと2型糖尿病患者のセルフケア能力との関連

唐 虹 (Digital-L 歯科・矯正歯科)

一般演題6 15:58～17:00 (第2会場/ホールB)

座長 福田 洋 (順天堂大学)

OR6-15 働く世代におけるアクティブトラベルと Acceptable walking time との関連

神谷 義人 (名桜大学 人間健康学部 スポーツ健康学科)

OR6-16 大学生の男女別による睡眠状況と食習慣の比較

福井 涼太 (長野県立大学 健康発達学部 食健康学科)

OR6-17 管理栄養士養成大学のボランティア活動におけるアドボカシー体験

大出 理香 (人間総合科学大学 人間科学部 健康栄養学科)

OR6-18 大学生の健康観察結果の日常生活への活用 ―ソーシャルサポート、ヘルスリテラシーとの関連―

石井 有美子 (徳島大学大学院 医歯薬学研究部)

OR6-19 Quantifying the need for health-promotion interventions related to sanitation in a rural Southeast Asian setting

朴 敏廷 (建陽大学校 看護大学 看護学科)

一般演題7 13:10～14:10 (第3会場/第1会議室)

座長 木下 ゆり (東北生活文化大学短期大学部)

OR7-1 新型コロナウイルス感染拡大下における世帯人数・世帯収入別食料支出の変化：家計調査の分析から

高野 真梨子 (女子栄養大学大学院 栄養学研究科)

OR7-2 地域の多様な主体との8年半の連携活動報告および今後の展開 ～東北復興応援「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」(第1報)～

齋藤 由里子 (公益財団法人 味の素ファンデーション (TAF))

OR7-3 行動変容のため楽しさ・再現性に拘ったレシピ集の特徴と波及～東北復興応援「ふれあいの赤いエプロンプロジェクト」(第2報)～

三浦 優佳 (公益財団法人 味の素ファンデーション (TAF))

OR7-4 ふれあいの赤いエプロンプロジェクトが食生活改善推進員の活動にもたらした効果：第三者評価による報告1

黒田 藍 (帝京大学大学院 公衆衛生学研究科)

OR7-5 ふれあいの赤いエプロンプロジェクトは、東北に何をもたらしたのか？福島、当事者視点からの評価：第三者評価による報告2

久地井 寿哉（ふれあいの赤いエプロンプロジェクト 評価チーム）

一般演題7 14：10～15：10（第3会場／第1会議室）

座長 吉池 信男（青森県立保健大学）

OR7-6（実践報告）2・3歳児へのサペレメソッドを使った五感体験・共感型食育活動の園外専門家による実践

染井 順一郎（一般社団法人 味の教室協会）

OR7-7 ナッジを活用した小学校における給食指導での食環境整備への取り組み

川嶋 愛（千葉大学大学院 教育学研究科）

OR7-8 学童後期の体型認識およびQOL評価の親子比較

田久保 由美子（東京医療保健大学 千葉看護学部）

OR7-9 適正量を把握している者の中で、適量注文を行う者の特徴

西田 依小里（お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科）

OR7-10 勤労者向け包括的ヘルスリテラシー尺度（CHLS-J）の開発：日本国内6県の一般企業・法人を対象とした調査から

中台 桂林（新潟大学大学院 現代社会文化研究科）

一般演題7 15：10～15：58（第3会場／第1会議室）

座長 川畑 輝子（公益社団法人 地域医療振興協会）

OR7-11 高齢者の健康と日常生活における情報の関係 ―北海道江別市の高齢者を対象とした実態調査より―

本間 直幸（北海道情報大学 医療情報学部 医療情報学科）

OR7-12 地域ヘルスプロモーション病院活動の一環として行う地域の多機関と連携したフレイル予防の取り組み

大橋 大輔（地域医療振興協会 あま市民病院）

OR7-13 地域のヘルスプロモーション病院としての取り組み

野本 潤矢（地域医療振興協会 台東区立台東病院・老人保健施設）

OR7-14 地域ヘルスプロモーション病院活動の一環として行う、地域の商業施設およびプロバスケットボールチームとのコラボレーション事業

西原 敏順（公益社団法人 地域医療振興協会 あま市民病院）

一般演題7 15:58～17:00 (第3会場/第1会議室)

座長 井上 茂 (東京医科大学)

OR7-15 パーキンソン病患者におけるヘルスリテラシーおよびセルフマネジメントの健康関連 Quality of Life への関連

川村 佳祐 (国立病院機構東近江総合医療センター リハビリテーション科)

OR7-16 糖尿病患者のこころ：QOL から覗くとどう見える？～DTR-QOL を用いて～

日比野 智美 (ぼらんのひろば井上診療所)

OR7-17 ダウン症のある成人の BMI と強度別および行動様式別の身体活動時間との関連

山中 恵里香 (東京都立大学)

OR7-18 デジタルディスペンサーを活用したゲイバイセクシュアル男性対象の HIV・梅毒検査キット配布プログラムの実施

金子 典代 (名古屋市立大学大学院 看護学研究科)

一般演題発表（ラウンドテーブル）

7月22日（土）

一般演題（ラウンドテーブル1）

RT-1 10:10～11:00 （第4会場／第3会議室）

大学における生理用品無償配布の取り組みから

渡辺 久美（桜美林大学）

一般演題（ラウンドテーブル2）

RT-2 11:10～12:00 （第4会場／第3会議室）

ヘルスリテラシー向上へのこれからの健康教育のあり方

江口 泰正（産業医科大学 産業保健学部）

7月23日（日）

一般演題（ラウンドテーブル3）

RT-3 9:00～9:50 （第2会場／ホールB）

ウィズ・コロナ時代における子どもの健康・生活への支援～健康教育 TYA 方式を事例とした実践・応用の観点から～

浅田 豊（青森県立保健大学）

一般演題（ラウンドテーブル4）

RT-4 10:00～10:50 （第2会場／ホールB）

日本のゲイコミュニティが挑む HIV 予防のエビデンスと実践のギャップ解消

岩橋 恒太（特定非営利活動法人 akta）

一般演題（ラウンドテーブル5）

RT-5 11:00～11:50 （第2会場／ホールB）

「食育における歯科口腔保健の推進」を考える

田野 ルミ（国立保健医療科学院 生涯健康研究部）

一般演題（ラウンドテーブル6）

RT-6 10:00～10:50 （第4会場／第3会議室）

食事づくりタイプに応じた「健康な食事」実践ガイドの活用法

阿部 知紗（女子栄養大学大学院）

一般演題（ラウンドテーブル7）

RT-7 13：00～13：50 （第4会場／第3会議室）

ポストコロナ時代における開発途上国での学校保健支援と研究の在り方 ―日本の強みを生かした学校保健支援及び研究とは？―

友川 幸（信州大学 教育学部）

一般演題（ラウンドテーブル8）

RT-8 14：00～14：50 （第4会場／第3会議室）

子ども同士の身体接触許容範囲の検討～組体操指導者用書籍の分析結果を参考にして～

橘 那由美（環太平洋大学 次世代教育学部）

一般演題（ラウンドテーブル9）

RT-9 15：00～15：50 （第4会場／第3会議室）

若年成人メタボリックシンドローム（MS）の保健対策の形成について

春山 康夫（獨協医科大学先端医科学統合研究施設）

一般演題（ラウンドテーブル10）

RT-10 16：00～16：50 （第4会場／第3会議室）

健康教育を Embodiment から再考する試み

守山 正樹（NPO ウェルビーイング附属研究所）